

## サクラヒラタハバチ

6～7月にサクラ，ナナカマド，サンザシに集団で糸を張り巡らして葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長約20mm。体は黄色からオレンジ色。頭部と尾端は黒い。イボ状の脚（あし）はない。

多発することはないが，幼虫集団が大きいので，単木的に被害が目立つことがある。



1. 被害. 1993/8/20. 新得町, ナナカマド.



2. 幼虫, 体長15mm. 1の巢内.

【学名】 *Neurotoma iridescens*

【分類】 ハチ目 (Hymenoptera) , ハバチ亜目 (Symphyta) , ヒラタハバチ科 (Pamphiliidae)

### 【生態】

宿主：ナナカマド，サクラ，サンザシ。

幼虫は晩春から初夏にかけて発生し，数十頭の集団で枝や葉に糸を張り巡らす。

7～8月頃，幼虫は十分に成長し，地上に降りて土中に潜る。土中の深さ10～20cmぐらいのところでは小さな丸い部屋を作り，その中で越冬する。翌春，部屋の中で蛹になる。6月頃に蜂（成虫）になり，地上に現れる。人を刺すことはない。雌成虫は葉裏の主脈に20～30個の卵を並べて埋め込む。卵は10日ほどで孵る。

### 【被害と防除】

多発することはないが，幼虫集団が大きいので被害が目立つ。気になるときは，幼虫を取り除く。

### 【文献】

1958. 奥谷禎一，三方彰一. 広腰亜目の研究. X. サクラを加害するヒラタハバチ2種の生活史. 日本応用動物昆虫学会誌, 2: 100-212. (生態)

1999. Shinohara, A. , and H. Hara. Host-plant records for six Pamphiliine sawflies (Hymenoptera, Pamphiliidae) in Hokkaido, Japan. Bull. Natn. Sci. Mus. , Tokyo, Ser. A, 25: 123-128. (宿主)

サクラヒラタハバチ hirataha/sakurahi/

kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/5.

1yochu.JPG, 1yochusu.JPG

「写真 1～2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1993.